

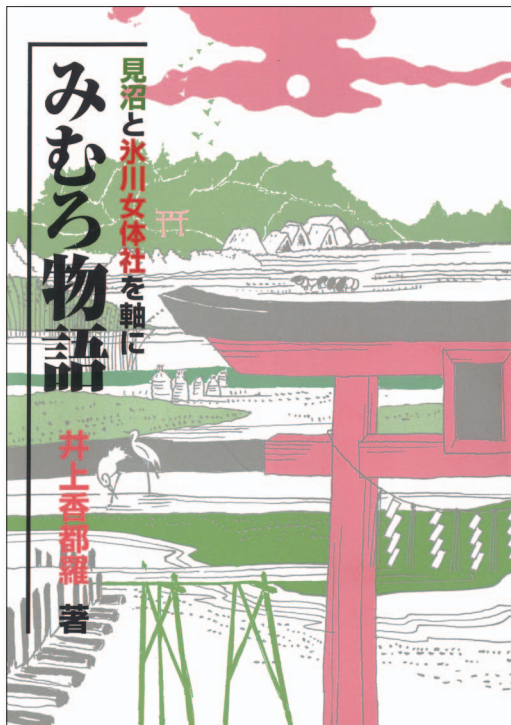
# みむろ物語

氷川女体神社と見沼を軸に

いのうえかつら  
井上香都羅 著

初版刊行後、長い間絶版となっていた歴史書が約二十年前の復刻！

さいたま市郊外の「三室」に鎮座する氷川女体神社を軸に、三室の原始・古代から今日までの移り変わりをさまざまな角度から検証。特にその地名の由来、神社の起源については、全国数百か所の神山、古代遺跡などから探る。平将門の乱、関ヶ原の戦いや見沼干拓など、歴史の中で三室がどのように歩んできたのか、一地方史から日本史を俯瞰する。



発行 さきたま出版会 ■ B6 / 上製 / 244ページ ■ 定価 本体2315円+税 ■ 2017年4月上旬発売

## 目次

- なぜ三室なのか 浦和市三室 / 三室山とのかかわり
  - 三室氷川女体神社 女体社の歴史 / 女体社の社宝  
見沼は神域であった 太古からの変遷 / 御手洗瀬としての見沼
  - 武州一宮の神宮家 古代の武笠氏 / 平将門の乱と武笠氏 / 承久の乱討死 / 岩槻城攻防と武笠一族 / 関ヶ原出陣 / 武笠丹波守嘉隆 / 大宮氷川社とのかかわり
  - 御沼干拓 享保改革と新田開発 / 幕府と神社の対立 / 干拓の問題点 / 干拓工事 / 見沼代用水 / 見沼通船堀
  - 女体社のまつりごと 見沼と御舟祭り / 磐舟祭りと祭祀場
  - 社僧と社家 社僧文殊寺 / 社家
  - 見沼干拓以降 神社の立場 / 干拓と村々
  - 女体社の造営・修理 社と寺社奉行所 / 富くじ興行 / 勸化 / 大岡越前守と女体社
  - 明治以降の三室 神仏分離と女体社 / 明治の三室村 / 昭和初期の女体社 / 現在の三室
- 〔付録〕
- 武笠家系図 武笠神主家系図 / 武笠名主家系図
  - 武笠家文書 神主家文書 / 名主家文書

## 著者略歴

井上香都羅 (いのうえ・かつら)

昭和九年熊本県天草本渡市に生まれる。昭和二七〜五七年、海上保安庁・海上保安官。昭和三四年、巡視艇爆発、両脚切断。昭和六〇年頃より古代研究に入り、現在も古代史・考古学・民俗学研究と取り組む

著書 『体験記 やればできる』(講談社、昭和四五年)、『別府温泉入門案内』(昭和六〇年)、『銅鐸 祖霊祭器説』(彩流社、平成九年)

貴店印

注 文

部

さきたま出版会

## みむろ物語

氷川女体神社と見沼を軸に

井上香都羅

ISBN978-4-87891-438-6 C0021

定価 本体2,315円+税



さきたま出版会

〒336-0022 さいたま市南区白幡 3-6-10

TEL.048-711-8041 / FAX.048-711-8044